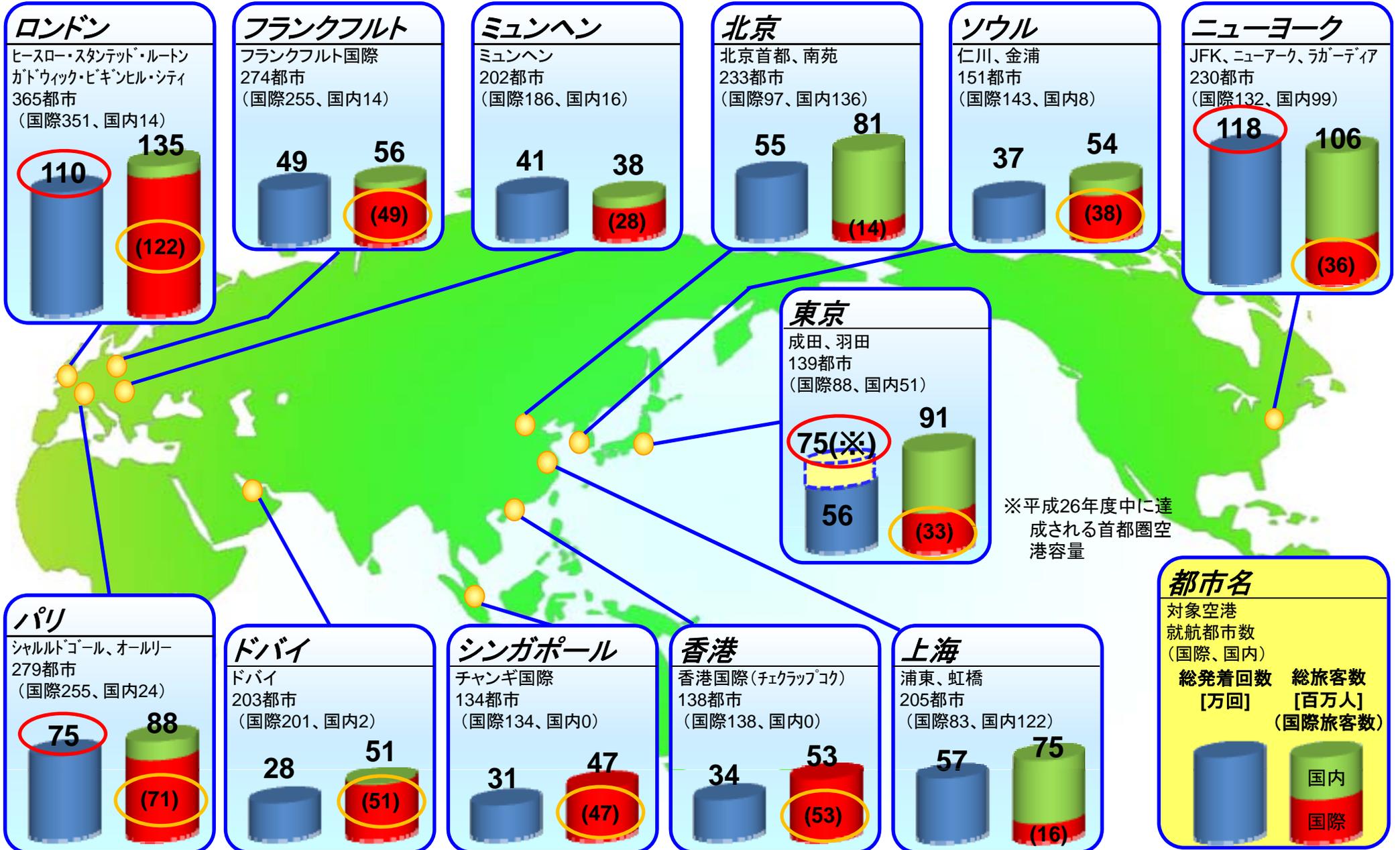


# 首都圏空港(羽田・成田)の年間発着枠の増加

	羽田空港 (うち国際線)	成田空港	首都圏空港全体
H22.10月まで (羽田D滑走路供用前)	30.3万回	22万回	52.3万回
H25.3.30 まで	39万回 (6万回)	25万回	64万回
H26.3.29 まで	41万回 (6万回)	27万回	68万回
以降、首都圏空港を含めたオープンスカイを実施			
H26.3.30 以降	44.7万回 (9万回) 国際線3万回増枠	27万回	71.7万回
最終形 (H26年度中)	44.7万回 (9万回)	30万回 3万回増枠	74.7万回

- \* 1. いずれも年間当たりの回数である。
- \* 2. 回数のカウントは、1離陸で1回、1着陸で1回のため、1離着陸で2回とのカウントである。
- \* 3. 羽田空港の発着枠数の中には、深夜早朝の国際チャーター便等の運航に使われる枠数も含まれる。

# 世界各都市内の空港の就航都市数・発着回数・旅客数



※平成26年度中に達成される首都圏空港容量

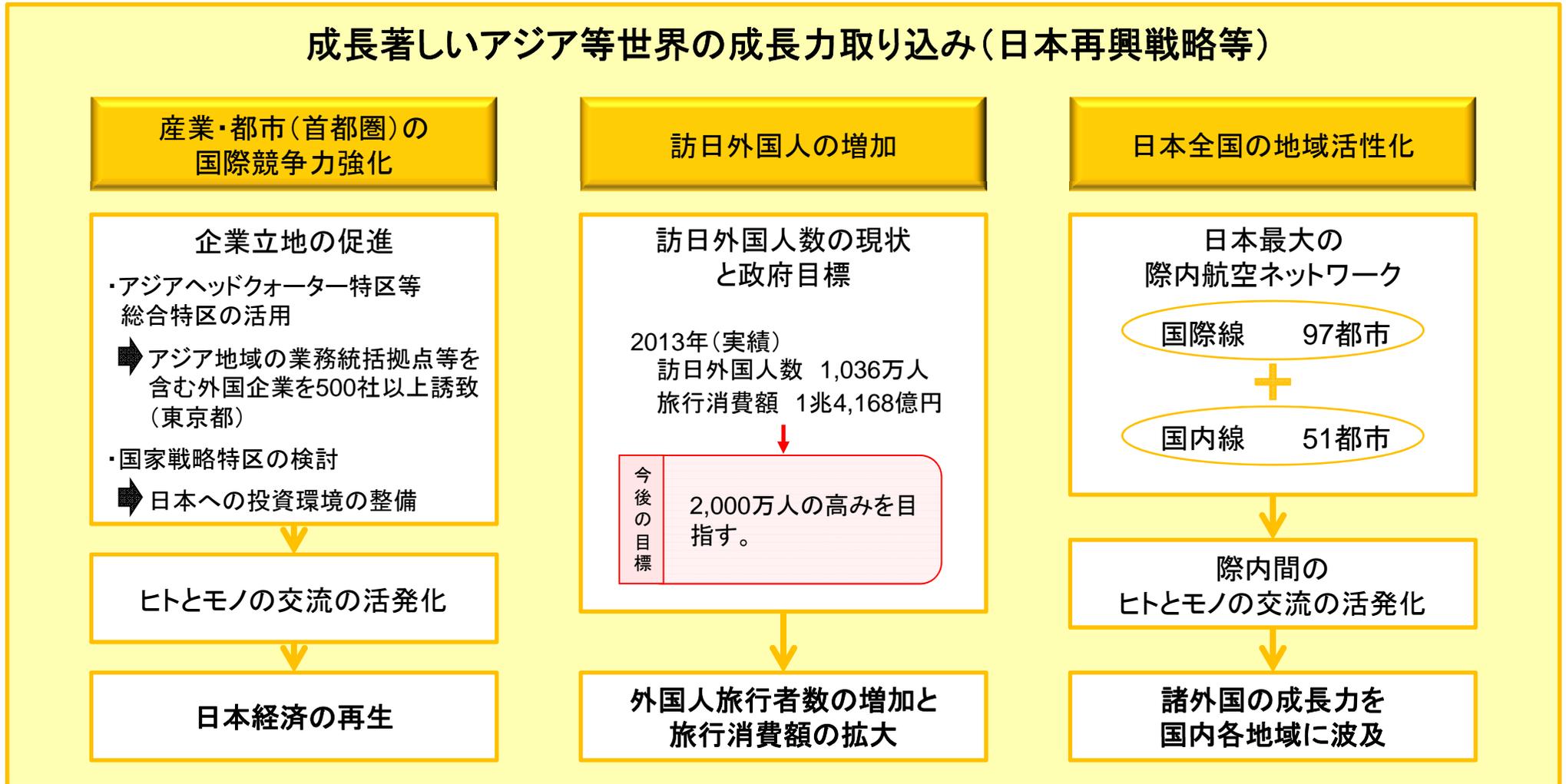
**都市名**

対象空港  
就航都市数  
(国際, 国内)  
総発着回数 [万回]  
総旅客数 [百万人] (国際, 国内)

(出典) 「ACI Annual World Airport Traffic Report (Annual WATR) 2011」、「OAG Flight Guide Worldwide」より国土交通省航空局作成

※発着回数、旅客数は2011年のデータ  
就航都市数は2013年8月時点で、定期旅客便の直行便が就航している都市数

## 成長著しいアジア等世界の成長力取り込み(日本再興戦略等)



首都圏空港の更なる機能強化が必要

注: 就航都市数は、2013年8月時点で、定期便の直行便が就航している都市数

平成25年9月26日

交通政策審議会航空分科会基本政策部会



首都圏空港をめぐる航空政策上の課題の整理

〔今後の首都圏空港の需要予測、国際航空を巡る環境変化、  
首都圏空港の国際競争力を高めるために必要な能力・機能 等〕

平成25年11月1日～

首都圏空港機能強化技術検討小委員会



首都圏空港の機能強化策にかかる技術的な選択肢の洗い出し

〔第1回：平成25年11月1日、第2回：平成25年12月9日、第3回：平成26年1月31日、  
第4回：平成26年3月14日〕

平成26年度～

地元自治体や航空会社等の利害関係者も含めた検討の場



具体的な選択肢の精査及び関係者との合意形成

合意形成後

国と地元自治体による協議の場



具体的方策の理解・協力に向けた協議

〔財源確保のあり方、環境対策 等〕